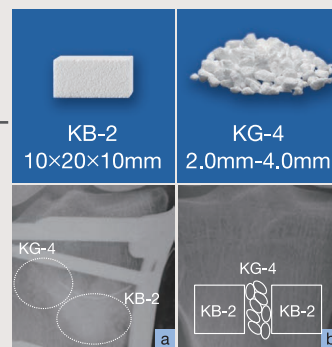
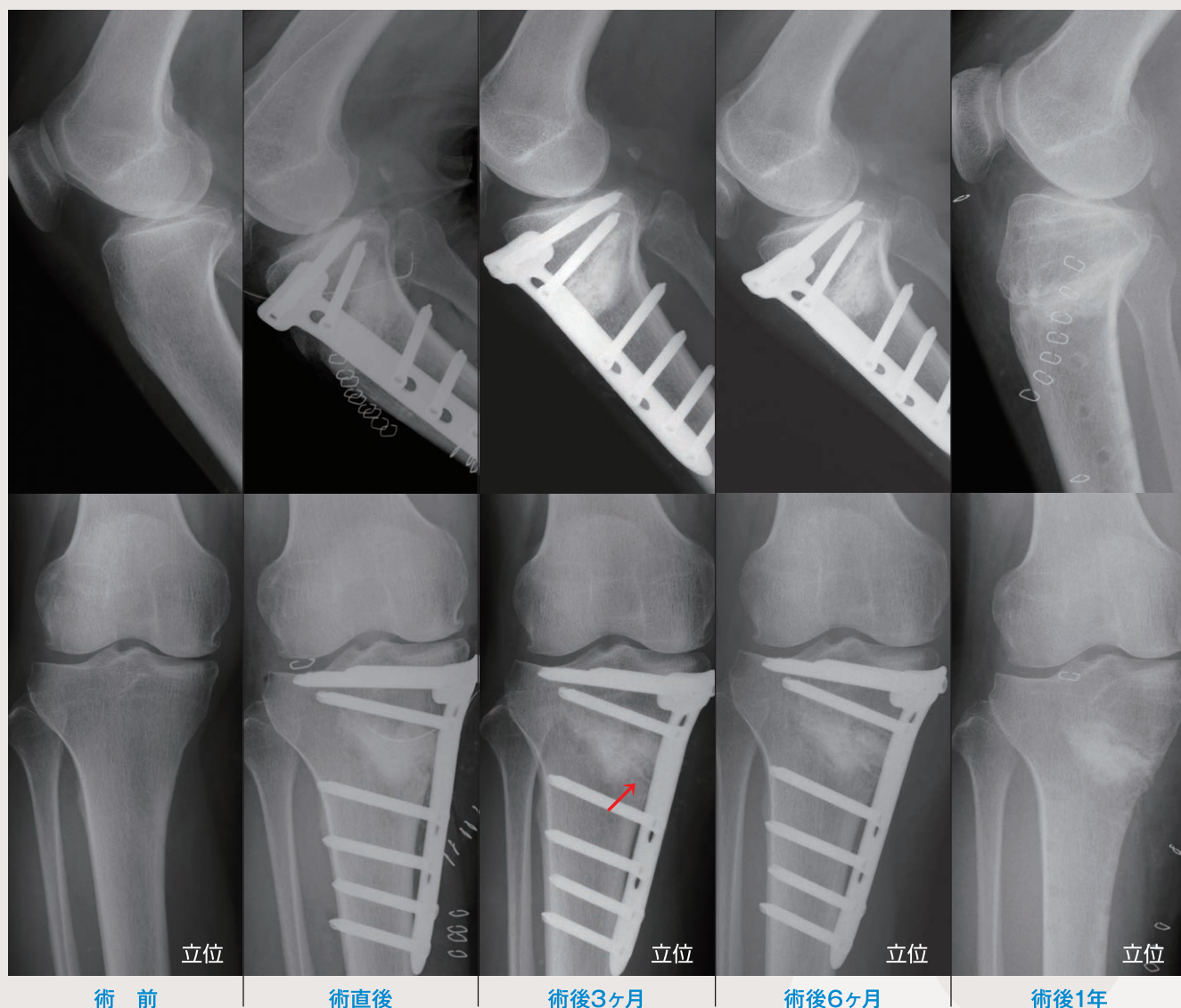


右内側型変形性膝関節症

スーパーポア KB-2 (10×20×10mm) 2個 KG-4 (2.0mm-4.0mm) 5g
変形性膝関節症 (gradeⅢ) に対し右脛骨にStaubliらの方法に準じて骨切り術を行った。術前立位FTAは180°。歩行時、疼痛が強く、JOA scoreは80点。
脛骨前方は切り上げて処理せず脛骨結節の方向に骨切りし、骨切りした部分にブロックを2個並列に補填し、その間に顆粒を補填※し内固定を行った。
免荷期間は1週間、術後4週で全荷重を許可した。



※ [補填方法] a) 正面 b) 側面



術後3ヶ月で補填した人工骨（顆粒およびブロック）のうち、特に内部側（→）は、周辺が不明瞭になっており、術後6ヶ月では、補填した人工骨の高がわずかに縮小し、吸収骨置換されているのがみられる。
術後、可動域はほぼ術前と同じく、立位FTAは168°となり、疼痛も改善し良好である。術後1年で内固定具を抜去し経過良好である。